



THE NEWS LETTER

2012 WINTER

Vol. 26

日本歯科審美学会
Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

日本歯科審美学会・副会長 末瀬一彦



千田 彰会長の執行部が発足して約半年が経過しました。千田会長の指揮の下、札幌での第12回アジア歯科審美学会・第23回日本歯科審美学会も無事に開催されました。会員の皆様方のご協力と役員の方の先生方のご尽力に厚く感謝申し上げます。

千田会長が就任時に申されましたように、色の異なるピースの重ね合わせ、積み上げによって鮮やかな「モザイク模様」が生まれるように、本学会も各分野のインターデシ

プリーナリーによって、お互いの存在を尊重しながらも「美しい和」を保つべく会務運営を図らなければなりません。本学会は専門分野や専門職種の領域を超えて活動できる数少ない分野の学会であります。親しみを保ちながら、モチベーションを高めましょう

一方、歯科審美の臨床も大きな変革期を迎えつつあります。特に修復分野において「CAD/CAMテクノロジー」の普及によって補綴治療は大きな変革期を迎えています。これまでの修復物は、歯科技工物の海外輸入問題に端を発して、完成品までの流れが明らかにされないまま患者の口腔内に装着されていました。しかし、工業界から応用されてきたCAD/CAMシステムは使用材料や製作過程のプロセスが明確で、バーコードなどで管理することが可能です。口腔内に装着される補綴装置についての製作責任は歯科技工士にあり、歯科医師には全体的な治療に対する管理責任があります。トレーサビリティを確保することによって患者は安全、安心な治療が行われるようになります。さらに、ミリングによる製作では均質な材料を加工するだけで、完成された技工物も全く同一素材で仕上がります。鋳造操作による不純物の混入や組織構造の変化なども回避することが可能となります。まさに信頼性の高い補綴装置が提供されることとなります。CAD/CAMシステムでは情報の保存や伝達も可能で、製作期間も短縮され、歯科技工に対するイメージアップもはかれます。CAD/CAMテクノロジーの進展によって補綴治療は大きく変革し、かつての「鋳造冠」以来のセンセーショナルな変化となります。近い将来においては、口腔内スキャンがさらに普及することによって印象材や模型材が不要となり、さらには顎運動要素もCAD/CAMシステムに組み込まれば咬合器さえ必要でなくなります。このような時代がもうすぐそこに来ています。Digital Dentistryは「歯科審美」の担う部分が数多くあります。本学会の使命もますます重要になっていくでしょう！

第24回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

第24回 日本歯科審美学会学術大会に向けて

日本歯科大学生命歯学部接着歯科学講座 大会長 奈良陽一郎



日本歯科審美学会会員の皆様、如何お過ごしでいらっしゃいますでしょうか。さて、日本歯科審美学会から第24回学術大会の主管を仰せつかり、平成25年7月20日(土)・21日(日)の両日、東京都千代田区の日本歯科大学生命歯学部における開催を見据え、鋭意準備を進めております。

“歯科審美”の達成には、機能美、形態美、色彩美の融合が求められます。それらの具現化は、健康、和み、幸せなどをもたらすと同時に、人々を知らず知らずのうちに明るく、前向きにさせてしまう不思議な力を秘めています。こうした心身と行動の変容は、“歯科審美”が招来する特徴的な臨床成果であり、多岐にわたる歯科医療関係者がこれらを担っているといえましょう。

そこで今回の学術大会では、「歯科審美 調和の医療」をメインテーマとして、一般発表(口頭・ポスター発表)をはじめ、特別講演、教育講演、学会長講演に加え、臨床セッション、シンポジウム等を企画し、皆様をお迎えできるよう準備を進めております。特に今大会からは、千田 彰 学会長による“プログラム編成に際しては、開催主管校の思い入れやアイデアに加え、学会の各種委員会・部会等による検討とその反映によって、一貫性、連続性、特色あるプログラム提供を図る。”という指針を受け、その具現化に取り組みますので、どうかご期待ください。

また、一般発表のポスター発表では、学会の表彰制度規則に則り優秀発表賞が授与されますので、多数の演題申し込みとご発表を期待しております。さらに、大会2日間を通じランチョンセミナーと企業展示を設け、参加者が望む情報やニーズを少しでも多くご提供できるよう努めさせていただきます。くわえて、第一日目の夕刻には、会員、参加者、講演者各位の意見交換や親交を深めていただくため、懇親会を開催いたしますので、是非ともお誘い合わせの上、お越し願います。あわせて、会員・参加者・演者のみならず、協賛企業を含めた各位の期待・求め・願いに応える大会となるようプランニングを図り、あわせて“おもてなしの心”をもって皆様をお迎えしたく思います。

詳細につきましては、今後、「歯科審美」による会報や大会ホームページによってお知らせして参ります。

では、来年の梅雨明け、輝く太陽の下、皆様のご来臨をスタッフと共にお待ち申し上げております。

第25回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

歯科審美臨床と学術のハーモニー

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

生体機能再生・再建学講座歯科保存修復学分野 大会長 吉山昌宏



平成26年11月22日(土)・23日(日)の両日、香川県高松市のアルファあなびきホールにおいて、第25回日本歯科審美学会学術大会・総会を開催主管させていただくことになりました。今回の大会では「歯科審美臨床と学術のハーモニー」メインテーマに、国民・患者の誰もが願う“辛くなく、綺麗で、確かな治療”

を具現化する歯科審美の臨床、それを支える学術的根拠の和合について、参加者の皆様が語りあい、それぞれの立場から見つめ直す機会となれば幸いです。まず国内外より著名な歯科審美に関する臨床家および研究者をお招きして多数の講演やランチョンセミナーを予定しております。また会員による口頭発表、ポスター発表も多数予定しており歯科技工士セッションや歯科衛生士セッションも予定しています。さらに、皆様が望む情報やニーズを少しでも多くご提供できるよう、大会2日間を通し、多くの企業から協賛を得ました展示場を設けておりますので、お立ち寄り下さい。そして初日の夕刻には、会員、参加者、講演者各位の親睦や交流を深めていただくため、会場から程近いJRホテルクレメント高松にて、懇親会を開催致しますので、ぜひともお誘いあわせの上、ご参加ください。

大会終了後の11月24日(月)には風光明媚な香川・高松をお楽しみいただくためエクスカージョンを予定しており、ゴルフ、うどんツアーなどのエクスカージョンを予定しています。

皆様の御来臨をスタッフ一同心よりお待ちしております。



アルファあなびきホール

学術大会報告(1)

第12回アジア歯科審美学会／第23回日本歯科審美学会学術大会報告 北海道大学大学院歯学研究科 口腔健康科学講座 歯科保存学教室 大会長 佐野英彦



本格的な冬の到来を迎えようとしており、寒さが一段と身にしみることごろですが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

去る7月19日(木)から22日(日)まで札幌コンベンションセンターで開催されました第12回アジア歯科審美学会／第23回日本歯科審美学会学術大会もおかげさまで無事終了

することができました。これもひとえに大会にご参加くださいました皆様、ならびに大会開催にご協力くださいました関係者の皆様のおかげと感謝しております。ここに改めまして皆様に御礼申し上げます。

さて、大会はと言いますと、初日の19日には日本歯科審美学会の理事会・評議会、アジア歯科審美学会の会議とその後にウェルカムレセプションが行われました。ウェルカムレセプションにはアジア歯科審美学会の役員、日本歯科審美学会の役員の皆様をはじめ関係者の方々が多数お集まりくださりご歓談されておりました。大変多くの皆様に参加していただきましたが、会場がいささか狭くご迷惑をかけてしまいました。

20日には特別講演3題、アジア各国の代表者講演8題、ランチョンセミナー1題、ポスター発表63題の発表が行われました。夕刻からは会員懇親会が催され、参加いただきました皆様で会場が一杯となりました。余興としては北海道医療大学の学生の方々のよさこいソーランの演舞を披露させていただきましたが、それらも含めまして皆様が懇親会を楽しまれていらっしゃいまし



札幌コンベンションセンター

たら幸いと存じます。

21日には、午前には会長講演として久光 久(アジア歯科審美学会会長)、千田 彰(日本歯科審美学会会長)、Ronald M. Goodlin(アメリカ美容歯科学会会長)の3題、特別講演3題、ランチョンセミナー2題が行われ、午後からはエクスカージョンとしてゴルフおよび市内観光のバスツアーを企画しました。幸い天候にも恵まれ心地よい北海道の夏のひと時を過ごされたことと思います。

最終日の22日には市民公開講座2題、特別講演3題、セミナー3題(歯科技工士、歯科衛生士、ホワイトニング)が行われ無事閉会の運びとなりました。大会には札幌という遠方にもかかわらず400名を超える皆様にお集まりいただきました。

大会中は、晴天が続き私どもとしては、いささか暑いくらいでしたが参加していただきました皆様にはどのようにお感じになられたでしょうか。私どもが今大会の運営を任されておりましたが、何分不慣れなため大会の準備や当日の運営に行き届かないことがあり、関係者の皆様にはご迷惑を多数おかけいたしました。ここに慎んでお詫び申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、今大会の運営には日本歯科審美学会より多大なご援助をいただきました。重ねまして深く感謝を申し上げます次第でございます。



ウェルカムレセプション



ウェルカムレセプション



久光久AAAD会長と千田彰JAED会長



懇親会

学術大会報告(2)

第12回アジア歯科審美学会／第23回日本歯科審美学会報告

愛知学院大学歯学部保存修復学講座 佐藤かおり

2012年7月19日(木)から22日(日)という日程で、札幌市で第12回アジア歯科審美学会／第23回日本歯科審美学会が開催されました。飛行機を降りたとたん空気の爽やかさに驚きました。

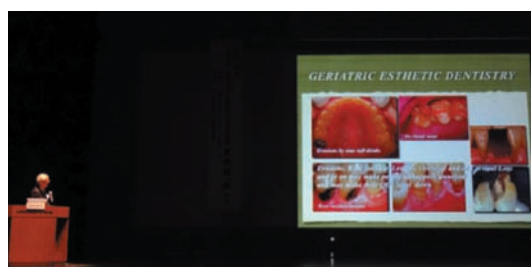
2004年の同じ時期に名古屋で第8回アジア歯科審美学会を開催いたしましたが、その蒸し暑いこと。「サバイバル学会」などと揶揄されました。それに比べて何と涼しいことかと思いました。

会場の札幌コンベンションセンターは、吹き抜けのある広い建物で、その中で開催される盛りだくさんの講演、セミナー、フォーラムの中からどれを選ぶか、大いに悩みました。参加された方々は皆さん、同じ悩みを持ったのではないのでしょうか。

開会式での佐野英彦大会長をはじめとする方々のご挨拶に続いて、千田 彰会長のご挨拶は、2012年3月13日に逝去されたDr. Sim Tang Eng、前AACD会長に黙祷を捧げることから始まりました。次いでアジアの参加国の紹介をされました。

各プレゼンテーションは年々手の込んだものとなり、アニメーションやビデオを使ったものも多くなってきました。

ポスターと業者展示の会場は非常にゆったりとした会場で、じっくり見ることができました。ポスター発表の内容は非常に基礎的なものから臨床的なものまで多岐にわたっておりました。あるポスターの中でも言及されていましたが、審美というホワイトニングや矯正というイメージが強いのですが、義歯による新美性の回復や審美的な義歯が紹介されていたのは興味深いことでした。



千田 彰会長講演

懇親会はさしもの広い会場も日本語と外国語が飛び交う人、人で溢れんばかりでした。「アジアにはアジアなりの審美歯科がある」という意味の挨拶が心に残りました。

翌日も、どれを聞くかが悩ましいことでした。「MIのための3つのR」としての「Recognition、Rejuvenate、Restore」をあげ、smart techniqueとsmart materialを使った現代にふさわしいsmart dentistryが必要だとの主張や、Principle of smile designに基づき建物を建てる時のように緻密に構築された修復法に驚かされました。「神は細部に宿る」が実践されている感じの精緻な修復を示す講演。矯正のE-lineが横顔の美しさを発現していることは、西洋の肖像画の多くが横顔で描かれていることに関係があり、ひるがえって日本で横顔が描かれるようになったのは近代以降である、という講演には門外漢ながらうなずけるものがありました。

市民フォーラムで江本孟紀氏のお話があるとのことでそちらに顔を出しました。以前に変わらぬダンディな氏のお話は、「歯がボロやったら野球ができひん」という感じのお話。プロスポーツの現場には、トレーナーやスポーツドクターの他にも歯科も必要ではないかということでした。どんどんその大切さを説いて頂きたいと思いました。

有用な情報で頭を、おいしい食事でお腹をいっぱいにして帰途につきました。

2013年も国内外で多くの学会やセミナーなどが予定されています。忙しいスケジュールを調整し、参加したいと思っています。



ホワイトニングセミナー

第22回 日本歯科医学会総会報告(1)

分科会プログラム参加報告

昭和大学歯学部歯科保存学講座美容歯科学部門 真鍋厚史

平成24年11月10日(土) 朝9時から12時まで日本歯科医学会における日本歯科審美学会主催の分科会プログラムとして「オールメインテナンスに欠かせないティースホワイトニングを思考する」と題し5名の先生方にご講演して頂きました。朝から天候不順の上、若干の寒冷があるにもかかわらず多くの来場者の方々がおり、私どものブースもおおよそ80名の聴講者の方々がお見えになりました。

第一演者の西川義昌先生は、審美とは何かを大きく総論的に論じられ、顎関節の機能のお話にまで発展して頂きました。永井茂之先生は歯肉と歯の色のハーモニーの大切さを、北原信也先生はホワイトニングと口腔健康の相関性を、椿知之先生はホワイトニングの安全性とエナメル質の変化を学術的に紹介され、最後の星野睦代先生は女性歯科医師がホワイトニングにどう向き合うかをアンケートを交えてお話し頂き、さらに女性から見た歯の白さを表現して頂きました。どの先生方も30分という短い時間で要点をきめ細やかに説明して頂き、かつ時間通りに終了され流石の一言に尽きました。

その後、総合討論として5名の演者の先生にご登壇を頂きフリーディスカッション形式でご質問にお答え頂きました。質問の内容はホワイトニング治療期間、歯科衛生士とのコミュニケーションの取り方、知覚過敏症の対処方法などがだされ演者の先生方にそれぞれ明確な回答を頂きました。

各先生ともまさに総合題名にふさわしい内容で会場からも沢山の質疑があり非常に活気のあるプログラムになったと思います。これを機にさらに日本歯科審美学会が歯科医療の一端を担うべき学会に発展することを信じ、報告とさせていただきます。



ご講演の先生方



分科会プログラム会場

第22回 日本歯科医学会総会報告(2)

国際セッションシンポジウム参加報告

大阪歯科大学歯科保存学講座 山本一世

平成24年11月9日(金)～11日(日)に第22回日本歯科医学会総会が大阪で開催されました。日本歯科医学会総会は4年に一度開催され、日本最大のデンタルショーと多彩な学術プログラムとの2本立てで構成されていますが、学術プログラムの中に国際セッションという分野があります。今回の総会では、その国際セッションに4つ設定されたシンポジウムの一つに審美歯科関連のテーマが設けられ、小生モデレーターとして参加させていただきましたので報告いたします。

国際セッションシンポジウム2は「Minimal Intervention in Smile Esthetics -The Future Trend」をテーマとして、11月10日(土)の14時～17時に開催されました。演者は本学会の千田 彰会長、AACD前会長のDr.Hugh D.Flax、アジア歯科審美学会副会長のDr.Sushil Koiralaの3人で、それぞれ「Esthetic Composite Bonding - A New Concept, Injectable Resin Technique」、「Laser Dentistry - The Future Has Arrived in Conservative Cosmetic Dentistry」、「Enhancing Smiles with MICD - Clinical Techniques」という演題名で各々45分間の講演の後、総合討論が行われました。各演者の方々の演題名に示されているとおり、おもに修復治療における歯科審美の重要性について活発な討論がなされ、本総会の「お口の健康 全身元気 -各世代の最新歯科事情-」というメインテーマにふさわしい有意義なシンポジウムとなり、参加された方々にとって歯科医療における「審美」の重要性を国際規模で、あらためて認識する機会となりました。

なお本シンポジウム開催にあたりまして、演者としてご参加いただいた千田会長はじめ、国際渉外委員長の中村隆志先生、総務担当の富士谷盛興先生に多大なるご援助を頂戴いたしました。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。



感謝状贈呈風景:左から千田 彰会長、Dr.Koirala、Dr.Flax、筆者

韓国歯科審美学会報告

2012年韓国歯科審美学会秋期大会に参加して

大阪大学大学院歯学研究科 歯科補綴学第一教室 若林一道

11月4日(日)に、2012年韓国歯科審美学会(KAED)秋期大会が開催されました。日本歯科審美学会(JAED)は、American Academy of Cosmetic Dentistry(AACD、アメリカ美容歯科学会)および韓国歯科審美学会(KAED)と姉妹協定を結んでおり、本学会ではAACD前会長 Dr.Sullivanが講演されました。今回JAEDからの講演はありませんでしたが、日本から黒瀬真由美先生がつまようじを使う要領で歯と歯の間を磨く『つまようじ法』について、樋口均也先生が見えない審美歯科治療としての口臭治療について講演をされました。

本年より、KAED大会が韓国の歯科医師必須研修ポイントの対象に認定されたようで、500名以上の先生方が参加されました。会場は例年学会が行われていたCOEXから世宗大学コンベンションセンターに変更となりましたが、COEXより収容人数も多く、大学自体がとても綺麗でしたので、会場として全く問題ないように感じられました。

学会前日、3学会による懇親会(KAEDよりJoon前会長、Myung-Jin Kim前会長、国際渉外Dr. Hwang、AACDよりSullivan前会長、JAEDより中村国際渉外委員長、筆者)に参加しました。懇親会では、ポスターセッションの開催方法、Webサイト相互リンク、認定医制度に関して情報交換しました。KAEDでは認定医制度が設けられていないようで、今後のKAEDの更なる発展に向けて、Kim前会長が熱心に聞かれていました。

今年は社会的には色々ありましたが、KAEDのメンバーの方達はとても親切で年々JAEDとの親交が深まっているように感じました。大阪から韓国までは飛行機で1時間半程度と、とても短時間で、かつ安い旅費で行けますので、お時間がありましたら、皆様も是非ご参加ください。



JAED,KAED,AACDメンバーでの記念写真



学会会場の世宗大学

優秀発表賞受賞者のご紹介

デンツプライ賞を受賞して

東京医科歯科大学大学院う蝕制御学分野 大槻昌幸



このたび、平成24年度日本歯科審美学会優秀発表賞（デンツプライ賞）に選ばれ、今年7月に開催されました第23回日本歯科審美学会総会・学術大会で受賞しました。受賞の対象は、昨年、奈良で開催されました学術大会でのポスター発表「歯の明度とオフィスホワイトニングの効果に各種因子が及ぼす影響」です。昨年

の学術大会は、例年以上に発表演題数が多く、その中から選ばれましたので、嬉しさもひとしおです。

この研究は、被験者72名422本の歯のホワイトニング前後の色調と、年齢・性別・歯種・嗜好品の摂取などの因子との関係について分析を行ったものです。

「私の歯はホワイトニングでどれくらい歯が白くなりますか？」と患者さんに尋ねられることがよくあります。それに対して、あまり過大な効果を期待されても困るので、「効果には個人差があるので・・・」と、明確なお答えをすることができません。ホワイトニングの治療効果に影響を及ぼす因子とその程度を明らかにすることができれば、ホワイトニング治療開始前に、患者さんにどの程度の治療効果が期待できるかについて、もう少し詳しく説明することができ、大変有用だと思います。しかしながら、これには多くの因子が複雑に関わっているようで、当初期待していたほど明瞭な結果は得られませんでした。今後、さらに分析を進め、興味ある知見が得られましたら、学会誌に発表させていただくつもりです。

審美歯科治療に限らず、歯科治療に際しては、十分な知識・技能とそれにふさわしい態度が求められており、知識・技能については適切な学問的裏付けが必要です。

今回の受賞を励みとして、歯科審美学への学術的なアプローチをさらに進めていくよう努めてまいりたいと思います。共同著者としてご指導を賜り、また、発表の機会を与えてくださいました東京医科歯科大学大学院・田上順次教授、愛知学院大学歯学部・千田 彰教授をはじめ、お世話になりました先生方から感謝申し上げます。

委員会報告

歯科審美編集委員会

会員皆様のご協力を得て、「歯科審美」第25巻第1号を9月に発行することができました。この号では原著4編、臨床のヒント1編そして誌上セミナー5編の合計10編の論文を掲載しております。いずれの論文も審美修復を実践する上でとても有益な情報を提供しておりますので、今一度じっくりとお読みいただければ幸いです。

いつもながら発行に至るまでの編集過程で著者の皆様にご大変なご負担をおかけしておりますが、編集委員会といたしましては、読者にとって読みやすくわかりやすい論文掲載を目指し時間をかけて慎重に査読しておりますので、ご理解・ご協力のほどをお願いしたいと存じます。

さて、編集委員会では論文投稿時の利便性と論文査読の効率化を目的に、電子投稿システムの構築を進めております。新たに電子投稿システムが完成しても、その実現には投稿規程の改訂と承認が必要となりますので、しばらくお時間を頂戴したいと思っております。

11月6日現在のところ、次号の「歯科審美」（第25巻第2号）に6編のご投稿を戴いております。各編集委員の査読を経た後、11月30日に次号の編集会議を開催する予定です。また、次号には「ダイレクトボンディングによるコンポジットレジン審美修復」について特集も企画しておりますので、是非ご期待いただきたいと思います。これからの「歯科審美」は、日本歯科審美学会の学会誌として原著論文のみならず症例報告・臨床のヒント等、臨床論文をさらに重視していきたいと考えておりますので、会員の皆様方から積極的なご投稿を賜れますようお願い申し上げます。
(委員長 新海航一)

国際渉外委員会

日本歯科審美学会(JAED)は、American Academy of Cosmetic Dentistry(AACD・アメリカ美容歯科学会)および韓国歯科審美学会(KAED)と姉妹協定を結んでいます。7月の札幌大会には、両学会から会長を含むゲストに参加いただき、代表に講演いただきました。次号の歯科審美にはDr. Goodlin AACD会長の論文が掲載される予定です。

AACD年次大会には、毎年演者を派遣しています。2013年4月のシアトル大会では、大槻昌幸先生(東京医科歯科大)と日野浦光先生(東京都)に講演いただく予定です。また、KAED秋季大会には、隔年で演者を派遣しております。

一方、日本歯科審美学会は組織として、AAAD(アジア歯科審美学会、久光 久前会長)とIFED(国際審美歯科連盟、千田 彰

次期会長)に加入しております。7月のAAAD/JAEDのジョイントミーティング(札幌)では、アジア8カ国の代表に講演をいただきました。次回のIFEDミーティングは2013年の9月、オクトーバーフェストの期間中にミュンヘンで、またAAADミーティングは2014年に仙山市(中国)でそれぞれ開催される予定です。両大会には日本から演者を派遣いたします。

2013年4月のAACDシアトル大会、そして9月のIFEDミュンヘン大会では日本の会員の先生方に登録料の特別割引があります。ぜひ参加いただきたいと思います。

(委員長 中村隆志)



姉妹協定を結ぶ3学会(5月ワシントンDC、富士谷盛興先生提供)

AACDサリバン前会長と日韓の国際渉外担当(11月ソウル)

社会・保険委員会

去る7月19日(木)に平成24年度第1回の委員会を学会会場の札幌コンベンションセンターで開催しました。報告事項として平成26年度の保険診療報酬改定に向け、「他の学会とのすり合わせを行う」、「学会同士の協調を図る」という2点を活動内容とすることが確認されました。

活動の一環として、6月15日(金)午前10時~午後4時40分、歯科医師会館1階大会議室で開催された平成24年度日本歯科医学学会第1回ワークショップに参加した遠藤幹事より参加報告がなされました。次期診療報酬改定に向けて、各学会の取り組みが



紹介されるとともに、保険収載へのステップに関する情報交換がなされたとのことでした。12月には本年度第2回目のワークショップが予定されていることから、さらに情報収集を進める予定です。
(委員長 藤澤政紀)

認定医・認定士審議会

本学会は、会員数に比較すると認定医・認定士の総数が少ないこともあり、積極的な認定への申請を呼びかけております。多くの会員に、資格を取得されますようお願い申し上げます。なお、申請に当たりましては本学会のホームページをご参照頂るか、(財)口腔保健協会日本歯科審美学会事務局までお問い合わせをお願いします。

また、認定取得後のフォローアップに関しては、セミナー委員会と話し合いを進めることでより充実した学会活動となるように、今後とも活動する予定です。

以下に平成24年度認定医審議会・認定士審議会合同会議の報告をさせていただきます。

認定審議会の実施状況

1. 平成24年8月18日 平成24年度合同審議会

- 1) 第32期新規認定医審査：3名合格
- 2) 第13期新規認定士審査：2名合格
- 3) 認定医更新診査：3名合格
- 4) 認定士更新書類審査：1名合格
- 5) 認定医新規取得者保留者：1名合格
- 6) 認定医更新申請者保留者：1名保留(論文発表後に再審査)
- 7) 認定士更新申請者保留者：1名資格失効

今後の予定について

- ・第33期認定医試験書類申請受付メ切：平成24年10月31日(水)(必着)
- ・書類審査結果通知：平成24年12月13日(木)
- ・症例提示および口頭試問：平成25年2月7日(木)

今後の学会の発展のためにも、認定資格の取得の促進活動にご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(委員長 宮崎真至)

セミナー統轄部会・セミナー委員会

セミナー統轄部会は奈良学術委員長と連携を取り、セミナー全体の連携・統括を図ることを今期の目標に掲げ、セミナー委員会とともにセミナーの活動を行っていくこととなりました。

早速、5月にセミナーあり方の検討会を行い、議論を重ねてきました。議論はセミナー内容もさることながら、多岐にわたり

ました。例えば、会員数が4,113名(歯科医師2,598名・歯科技工士・歯科衛生士1,482名)にもかかわらず、認定医は119名、認定技工士は35名、認定歯科衛生士は28名、と少ない数にとどまっています。ですが世の中では審美歯科とホームページで名乗っている歯科医院の数は多く、この状況はいかかなものか。ホワイトニングコーディネータを取得した認定歯科衛生士は8,000名を超え、これ自体、悪いことではないのですが、会員のホワイトニングコーディネータ数は少なく、更新の問題を考えるとホワイトニングコーディネータそのもの考え直す時期にきているのではないかなど、セミナー自体の議論よりも学会全体にわたる問題点、今後の方向性についても多くの意見が交わされました。千田 彰会長、佐藤 享前会長をはじめたくさんの先生方からご意見をいただき、セミナー全体の今後の方向性が曲がりなりにも決まってきたので、ここで少し御報告申し上げます。

まず、(1)セミナーは今後とも継続して行っていく。(2)会員の資質向上、会員増に貢献できる内容を目指す。(3)すなわち、認定医・認定士の取得・更新を目標とした演題の策定、さらに認定医・認定士研修会として開催する(認定医へは2単位が追加で取得できる)。(4)そのため、学術大会との連動を視野にいれ、開催時期、開催のテーマを考慮する。(5)各種関連委員会など関連の連携を強化するなどが骨子です。ホワイトニングコーディネータ委員会とは特に密に連絡を取り、会員であるホワイトニングコーディネータならびに認定士の育成に、協力体制を構築していくことなどが決まりました。

そこで、セミナー委員会では、本年は12月16日に審美歯科ウィンターフェスティバル東京という冠をつけて第1回セミナー委員会主催のセミナーをホワイトニングコーディネータ養成試験、ホワイトニングコーディネータアドバンスセミナーとの同時開催とし、セミナーは認定医・認定士講習会として、会員歯科医師、会員歯科衛生士・技工士が参加しやすいようにし、講習料にも会員には参加料を押さえて気楽に参加できるよう配慮しました。さらに、本年度は学術大会が7月に国際学会として札幌で開催されたことから、12月と時期的にも良いと思われます。また、内容も新人から認定医・認定士を目指すもの、更新を目指すものにも適しているテーマとして「さらに進化する審美修復ーコンポジット最新事情を知るー」を選びました。講師には日本大学・宮崎真至、東京都ご開業の大谷一紀先生と今引っ張りだこの先生をお願いをしています。どうか幅の広い方の参加をお待ちしています。

さらに、このニュースレター発刊時にはアナウンスができていたと思いますが、2013年2月には審美歯科ウィンターフェス

ティバル・名古屋と題してセミナーは最新のダイレクトボンディングハンズオンを計画中です。次年度はオールセラミック最前線をテーマに掲げ、各種委員会と共同歩調をとって活動を始めていく予定ですので、多くの会員の参加ならびにご協力を賜りたく、皆様よろしく申し上げます。（委員長 佐藤博信）

ホワイトニングコーディネーター委員会

来る12月16日(日)「審美歯科ウィンターフェスティバル イン 東京」にて平成24年度第2回ホワイトニングセミナーおよび第1回ホワイトニングアドバンスセミナーが開催されます。

毎回多くの皆様に好評していただき、ホワイトニングセミナーを開催してまいりましたが、さらなる勉強の場を求める皆様のご要望より、学会初のホワイトニングアドバンスセミナーを開催する運びとなりました。振ってのご参加をお待ちしております。

なお、ホワイトニングコーディネーター資格の更新内容が変更になりました。以前は、学会非会員のホワイトニングコーディネーターは認定期間(3年間)内に本学会が認める学術大会やセミナーに1回以上の参加証明が必要でした。今回の改正で、認められるセミナーが、ホワイトニングアドバンスセミナーに変更されました。

今回のホワイトニングアドバンスセミナーはキャンペーンとして、会員歯科衛生士の参加費0円(当日入会者を含む)といたします。是非、日本歯科審美学会入会をお待ちしております。

<今後の活動予定>

- 平成24年12月16日(日) 平成24年度第2回ホワイトニングセミナー
ベルサール新宿グランド および第1回ホワイトニングアドバンスセミナー
※定員に達した為受付終了いたしました。
- 平成25年2月10日(日) 平成24年度第3回ホワイトニングセミナー
名古屋(会場未定) ※参加受付中です。

(幹事 守田宏子)

MTM研修推進委員会

MTM研修推進委員会では、かねてからの本学会のホームページに「MTM治療に関するQ&A集」を追加する計画をお知らせしておりました。現在ホームページ掲載の内容について詳細を詰めており、年内には皆様に閲覧していただけるようになると思っています。

内容に関しましては、以前行いましたアンケート調査を基に、MTM治療に関する基本的な注意事項や、具体的な治療方法など

についての情報提供を考えております。限られたスペースでの情報ですが会員の皆様にとって有益なものになることを願っております。

また内容に関しましては、今後、会員の皆様のご意見を反映させていきたいと考えております。公開後にはご意見をお寄せくださるよう、よろしくお願いたします。(委員長 三浦廣行)

.....

歯科技工士部門・歯科技工士セミナー委員会

今年度の歯科技工士部門の活動として、7月22日(日)札幌コンベンションセンターにて開催された日本歯科審美学会第23回学術大会(アジア歯科審美学会併催)での「歯科技工士企画セミナー(Dental technician project)の企画・運営の協力をさせて頂きました。

これは、第23回学術大会佐野英彦大会長からの要請で、本会歯科技工士セミナー委員会の皆さん方とともに担当をさせて頂きました。

「審美修復への歯科技工の貢献」をテーマに3名の講師において、坂本 裕先生(Y's Dent Studio,Inc.・北海道岩見沢市)には「歯科インプラント技工の光と影」、枝川智之先生(有限会社パシャデンタルラボラトリー)には「自然感のある審美補綴を目指してー透明感と明度コントローラー」、余田圭司先生(有限会社一隅社・代表取締役)には「歯冠のポジションと機能(総義歯の臨床基準と排列)」の内容でご講演を頂き、座長は小職が勤めさせて頂きました。

当日は学術大会最終日、開催地が札幌ということもあり歯科技工士方の参加が少なかったのが残念でしたが、内容的には大変素晴らしく受講者には好評でした。

セミナー関連としては、本会セミナー委員会企画では歯科技



「審美修復への歯科技工の貢献」の演者

工士関連のセミナー企画は無く、また、歯科技工士のみを対象としたセミナーは開催されませんでした。但し、次年度のセミナー委員会の企画では、歯科技工関連のCAD/CAM時代を踏まえてのポーセレンワーク色調再現が予定されているようです。ご期待ください。 (副会長 齊木好太郎)

.....

歯科衛生士部門

日本歯科審美学会学術大会・各種セミナー参加への誘い

平成24年12月16日(日)ベルサール新宿グランドで、平成24年度第1回ホワイトニングアドバンスセミナーが開催されます。

また、来年の話ではありますが、平成25年7月20日(土)、21日(日)に、第24回日本歯科審美学会学術大会が日本歯科大学生命歯学部(東京飯田橋)にて開催され、歯科衛生士対象のセッションやシンポジウムも企画されています。

学会や各種セミナーに参加すれば、審美歯科領域の最新の知識や情報が得られ、仕事上での悩み、不安、疑問の解決ヒントがきっと見つかると思います。

学会では、歯科衛生士を対象とした様々な情報を発信していますので、一度ホームページをご覧ください。また、会員には機関誌「歯科審美」も発行され、学会から発信される情報がさらに収集出来る事と思います。そして、その情報を日々の臨床に活かして頂ければと思います。ぜひ、日本歯科審美学会に入会して、日々の臨床で困った時の力強いパートナーとして学会を活用してみませんか！ (委員 山羽京子)

.....

表彰選考委員会

本委員会は、会則第6章第26条に基づき、本会の進歩、発展に寄与し、歯科審美学領域において業績があったと認められるものを表彰することを目的に審議するものであり、時局に応じて開催される。日本歯科審美学会における表彰制度規定によれば、表彰の種類は学会功労賞、優秀論文賞及び優秀発表賞(ポスター発表)がある。特に優秀論文賞は、原著論文に対して優秀研究論文賞、臨床論文に対して優秀臨床論文賞があり、いずれも会員歴が5年以上で、過去3年間に学術大会で発表され、関連論文が5編以上あること、受賞経験がないことが条件である。さらに会員歴3年以上、応募時の年齢が35歳未満の会員で、過去3年以内に学術大会で発表され、「歯科審美」に掲載された優秀な論文に対して、優秀奨励論文賞が授与される。なお、学会功労賞及び優秀論文賞は毎年2名以内、優秀発表は毎年3名以内とされ

ている。優秀発表賞は、学術大会において発表されたポスターの名から学会評議員の記名式投票によって選出され、次年度の学術大会において表彰される。

しかし、これらの表彰に関しては、委員会において慎重に審議し、該当者がいない場合もある。以上のように、本学会においては優れた業績のあった会員を顕彰する制度があり、学会全体としてその成果を称えるものである。学会において重要な役職を務めたり、学術大会において発表、「歯科審美」への論文を投稿した会員に対する評価であり、表彰することによって敬意を示すものである。賞を授与することが最終目標ではないが、本学会の活性化を図るべく制度として重要な位置づけにあり、会員諸氏におかれましては学会運営の積極的なご参加とともに、学術大会でのご発表、「歯科審美」へのご投稿を切に希望します。

(委員長 末瀬一彦)

表彰委員会

本委員会に日本歯科審美学会が求める事業としましては、委員会の名称が示すとおり、「表彰(学会功労賞、優秀論文賞、優秀発表賞)を行う。」があり、これは会則第6章第26条に明記されています。また、本委員会の目的としましては、「本会の進歩・発展に寄与し、歯科審美学領域において業績があったと認められる者を表彰すること」と「表彰制度規則」に明示されています。

そこで本報では、6月7日(木)開催の平成24年度第1回表彰選考委員会の結果について報告します。まず、本会における優れた教育・研究および臨床の業績、会務運営により、本会の発展に著しい貢献のあった者に授与される学会功労賞について、表彰制度規則に従い審査選考が行われました。その結果、本学会元会長として多大なるご尽力をいただき、さらにアジア歯科審美学会前会長でいらっしゃる昭和大学名誉教授・久光 久先生に本年度の学会功労賞を授与することが承認されました。

ついで優秀論文賞、すなわち研究論文の内容が歯科審美学および審美歯科医療の発展に貢献したと認められるもの(優秀研究論文賞)、臨床論文の内容が審美歯科医療の実践および歯科審美学の教育・研究に有益であると認められるもの(優秀臨床論文賞)、歯科審美学研究の方法や目的に新規性があり、十分な理論的背景を備え、審美歯科医療上の意義が明確であるもの(優秀奨励論文賞)についての審査選考に移りました。しかし、表彰制度規則第4条第2号の条件を充足した論文が認められないことから、平成23年度優秀論文賞は該当なしとなりました。

さらに本年7月20日(金)～22日(日)に開催された第23回日本歯科審美学会学術大会・第12回アジア歯科審美学会においては、

ポスター発表演題に対し、評議員の記名式投票によって優秀発表賞の選考が行われました。本賞は、学術大会でポスター発表され、歯科審美学および歯科審美医療の発展に寄与する優れたものに授与されます。輝く本年度の受賞者は、間もなく公表される運びとなっております。

“表彰”とは、歯科審美学ならびに歯科審美医療を行う者だけのものではなく、これらの恩恵・福音を受ける国民・患者にとっても副次的に大切なものと成りえます。本委員会では、会員各位からの各賞への推薦・応募をお待ちしております。

(委員長 奈良陽一郎)

.....

ホームページ・ニュースレター委員会

ホームページ・ニュースレター委員会は歯科審美編集委員会とともに広報・編集部会を構成し、本学会の広報活動を行っています。年2回発行される機関紙「歯科審美」と連携し、同じく年2回発行のニュースレター、ならびにホームページによって、密度の高い歯科審美の広報活動を行ってゆきたいと考えています。

お読みいただいているニュースレターは橋場千織先生主導のもと、前期同様2巻の発行ができました。会員ならびに関係各位の皆様へ深く感謝申し上げる次第です。なお今期のニュースレターの発送は、今期は前期と同じく会員ならびに更新手続きを終了されているホワイトニングコーディネーターを対象としておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

学会ホームページは前委員長の佐藤博信先生のもと、一昨年大幅にリニューアルされており、会員各自の情報や各種学術大会・セミナーの参加情報が表示されます。ぜひご活用いただくとともに、変更等が生じた場合にはお早めの手続きをお願いいたします。またできるだけ最新の情報をアップするよう心がけておりますが、さらなる内容の充実のためにも、今後とも会員の皆様の御指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

(委員長 山本一世)

.....

会員数・認定医および認定士数(2012年11月28日現在)

【会員数／4,157名(賛助会員を含む)】

A会員(歯科医師など)／2,607名

B会員(歯科技工士、歯科衛生士など)／1,497名

賛助会員／30社

【認定医数／119名】

【歯科技工認定士数／35名】

【歯科衛生認定士数／28名】

トピックス

新しい矯正治療装置の潮流

はしば矯正歯科 橋場千織

Digital dentistryの流れは、矯正歯科にも確実に浸透してきています。不正咬合をどのように治療するかを確認するために行うセットアップという作業は、従来は模型で行っていましたが、最近では「デジタルセットアップ」というコンピュータ上で行う方法が増加しています。

CAD/CAMの発達により矯正装置のブラケットも既成のブラケットからカスタムメイドのブラケットが作製されるようになりました。この技術は特に歯の裏側から矯正治療を行うリンガル矯正治療(舌側矯正治療)では、完全なオーダーメイドであるブラケットが近年シェアを伸ばしています。唇側に比べ舌側の歯の形態は複雑で個人差が大きいため、既成のブラケットではぴったりとフィットしなかったからです。またカスタムメイドブラケットは、従来の装置よりも小さくなり、患者さんの違和感が減り快適になりました。治療途中のブラケットの脱離も減少するという術者にとっても嬉しい装置です。

これらのカスタムメイドのリンガルブラケットシステムには、「Incognito(3Mユニテク)」と「Harmony(ハーモニージャパン)」という製品があります。このシステムにはロボットが曲げてくれるワイヤーも付属されます。矯正医は今までワイヤーをバンドするために、かなりの時間を費やし訓練をしてきましたが、ワイヤーベンディングも機械が行ってくれる時代がもう来ています。

「SureSmile」というシステムは、口腔内をスキャンすると、どのブラケットが装着されていても対応してワイヤーをバンドしてくれます。しかもCBCTのデータを読み取って、歯をbone housingする理想的な位置に移動させるためのワイヤーを、ロボットがバンドしてくれるのです。アメリカでは200台以上が導入されています。全てコンピューター化されたら誰でも簡単に矯正治療ができてしまいそうですが、人間の行う診断と治療方針を超える機能を有するのはまだまだ先になりそうです。



Incognito (3Mユニテク)



Harmony (ハーモニージャパン)

賛助会員一覧

相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>

石福金属興業株式会社

石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>

医歯薬出版株式会社

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24 4F
Tel: 03-6903-3535
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-5
初台村上ビル4F
Tel: 03-5365-1760
<http://www.ultradentjapan.com>



株式会社エイコー
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3834-5777
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>

長田電機工業株式会社

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15
GSKビル別館9F
Tel: 03-5786-5012
<http://glaxosmithkline.co.jp>

クラレノリタケデンタル株式会社

クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraraynoritake.jp/>

サンメディカル株式会社

サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル5F
Tel: 03-5148-7895
<http://www.sirona.co.jp>



スリーエムヘルスケア株式会社
〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1
Tel (フリーダイヤル): 0120-332329
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html>



デンツプライIH株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋1-3-1
八重洲口大栄ビル12F
Tel: 03-3243-5055
<http://www.astratech.jp>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10

Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13

Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>



株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル
秋野々町513
Tel: 075-257-7255
<http://nissin-dental.jp>

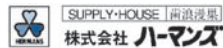


白水貿易株式会社
〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15

Tel: 06-6396-4400
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>



パナソニックヘルスケア株式会社
〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5
西新橋MFビル
Tel: 03-5408-7290
<http://panasonic.co.jp/hcc/phc/>



株式会社ハーマンズ
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10
若葉西ビル4F
Tel: 03-3770-0863
<http://www.hermans1984.co.jp/>



プランネットワークス株式会社
〒104-0042 東京都中央区入船2-1-1
住友入船ビル1304
Tel: 03-3523-4188
<http://www.dentwave.com>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

株式会社SCIZ

Esthefine Jet Set-4

エステファイン Jet Set-4



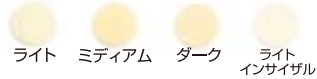
長期プロビジョナルレストレーションを考慮し、
耐久性、耐摩耗性、審美性に優れた即時重合レジン



修復部位: 112 ミディアム、ライトインサイズによる2層構造テクニック
写真提供: 原宿デンタルオフィス 山崎 長郎 先生

豊富なカラー
バリエーション

エステティックカラー: 4色



基本歯冠色: 6色



特殊色: 2色



コストパフォーマンスを追求

パウダー

45g ボトル ¥2,500
100g ボトル ¥3,100
454g ボトル ¥8,500

リキッド

118mL ボトル ¥2,900
236mL ボトル ¥3,550

セット

内容 パウダー: 45g ボトル×6 リキッド: 118mL ボトル×1 スポイト×1

■ プロフェッショナルカラーセット

(ライト×2、ミディアム×2、ダーク×1、ライトインサイズ×1)

■ 基本歯冠色セット (A2, A3.5, C2, D3, OM1, クリア)

各 ¥8,500

製造元: ラングデンタル社(アメリカ合衆国) (Lang Dental Manufacturing Co., Inc.)

管理医療機器 歯科材料 3 義歯床材料 歯科汎用アクリル系レジン(70916010) 認証番号: 224AGBZX00077000号

製造販売元: **ペントロン ジャパン株式会社**

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 レ・ジュ大井町 6F
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320



KATANA ZIRCONIA FRAME

新たなステージへ。

高精度になった新スキャナーの導入により、
適合精度が向上しました。

理想的なフレーム形態を
コンピューターが作り上げる
シュリンク形状

テクニシヤンの要望を
細部まで再現する
Dスキャン



口腔内でのポーセレンチップングを
未然に防ぐ
サポート形状



ノリタケ NORITAKE
Dental CAD/CAM System
KATANA
カタナシステム

※ノリタケ カタナジルコニアフレームをご発注いただくためには事前登録が必要となります。登録についてはお出入りの歯科商店様、または最寄りの(株)モリタにご連絡いただき、登録用紙をご請求ください。

- 販売名 ノリタケ デンタルスキャナー SC-3
- 一般的名称 歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット
- 医療機器届出番号 15B1X10001290003
- 医療機器の分類 一般医療機器(クラスI)

製造販売 クラレノリタケデンタル株式会社 新潟県胎内市倉敷町2-28

発売 株式会社モリタ 大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161

www.dental-plaza.com

Mint Flavor

new

ミント味のホームホワイトニング材



Opalescence[®]
tooth whitening systems
●●●●●●●●●●
The leader in whitening

医療機器承認番号：21800BZG10006000

new

STOP BEING SO SENSITIVE!

知覚過敏抑制材
ウルトライーストレイ
簡易トレイタイプ



医療機器認証番号：223AKBZX00097000

ウルトラデントジャパン

ULTRADENT
JAPAN 株式会社

〒151-0071 東京都渋谷区本町 1-7-5 初台村上ビル 4F

TEL: 03-5365-1760 FAX: 03-5365-1759

第一種医療機器製造販売業 許可番号：13B1X10086

<http://www.ultradentjapan.com>

☎ 0120-060-751



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／千田 彰

編集／日本歯科審美学会

ホームページ・ニュースレター委員会

印刷／三宝印刷株式会社

日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/